

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】「問い」と「史料」に基づく歴史の授業づくり		
担当講師名	藤波 潔		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年 8月 2日	振替日	2020年 8月 6日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校、中学校、高等学校（社会科、地理歴史科）		
履修認定時期	2020年 9月 25日		
講習形態	その他		

講習内容

本講義では、中等教育段階の新指導要領における歴史教育の内容を正確に理解すること、新指導要領の歴史教育で中核的な方法となっている「課題探究」型授業の根幹である「問い」の作成方法を修得すること、歴史資料の多様性について把握すること、歴史資料に基づき、生徒の実態に対応した問いを作成すること、等の習得を目的とする。

※5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
09:00～09:10	オリエンテーション
09:10～10:10	第1講: 中等教育段階の新指導要領における歴史教育①(講義)
10:20～11:20	第2講: 中等教育段階の新指導要領における歴史教育②(講義)
11:30～12:30	第3講: 歴史教育における「問い」(講義・演習)
12:30～13:30	昼食・休憩
13:30～14:30	第4講: 歴史資料の多様性(講義)
14:40～15:40	第5講: 歴史資料に基づく「問い」の設定(演習)
15:40～16:40	自習時間
16:50～17:50	試験
17:50～18:00	事後評価アンケート記入・回収

試験の方法 筆記試験

評価基準 筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び演習時の活動内容

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】文学の「読みの交流」の授業づくり		
担当講師名	桃原 千英子		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月12日	振替日	2020年8月17日
講習の領域	選択必修		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校教諭(国語)・高等学校教諭(国語)		
履修認定時期	2020年8月31日		
講習形態	一般講義		

講習内容

文学作品の「読みの交流」を通して、「主体的・対話的で深い学び」の学習デザインを考える。前半は「読みの交流」の基礎となる読者反応理論や読者論、ナラトロジーをもとに、学習者の読みの実態や、交流を可能にする問いについて触れる。後半は、校種ごとに交流を促す問いを作成し、実際に交流を行い読みの深まりを検証する。交流の活性化や、読みの深まりが見られない場合、どのように問えばよいのか、改善策を討議する。

※5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
9:00~9:10	オリエンテーション
9:10~10:10	第1講 「資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」について ・ 読みの交流(体験)
10:20~11:20	第2講 読みの交流(解説) ・ 読者反応理論(児童生徒の読みの段階)
11:30~12:30	第3講 ナラトロジー(語り手・描出表現) ・ 問いづくり
12:30~13:20	お昼休憩
13:20~14:20	第4講 問いづくり
14:30~15:30	第5講 読みの交流の実践、問いの検証
15:30~16:30	自習時間
16:30~17:30	試験
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収

試験の方法	筆記試験
-------	------

評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容
------	-----------------------------

評価	点数	評価の定義
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の歴史と文化		
担当講師名	宮城弘樹		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月1日	振替日	2020年9月26日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球の歴史・文化に関心のあるすべての学校教諭		
履修認定時期	2020年8月31日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>今帰仁グスクとその周辺を歩いて学習します。歴史遺産だけでなく、伝統文化、自然、観光産業など地域には、豊かな学習素材が綺羅星のごとく瞬いています。実際に歩いて歴史を体感する学習を行い、地域をとおして学習を再構築することを目的とする。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～11:10	移動車中にて、歴史学習		
11:10～12:10	今帰仁城跡見学		
12:10～13:10	お昼休憩		
13:10～13:40	歴史文化センター見学		
13:40～14:30	今帰仁城跡周辺文化財		
14:30～14:40	休憩		
14:40～15:30	今泊集落散策		
15:30～16:00	移動車中にて、自習時間		
16:00～17:00	移動車中にて、試験		
17:00～17:30	移動車中にて、事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	平常点50%、試験50%		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ琉球の言語文化		
担当講師名	西岡 敏		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月2日	振替日	2020年8月30日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球文化に関心のあるすべての教諭		
履修認定時期	2020年8月9日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>琉球語諸方言(しまくとぅば)は、独自の言語圏を形成していますが、次世代への継承が危ぶまれ、ユネスコによって消滅危機言語にも指定されています。これらの言語は、歌謡や戯曲などにおいても用いられ、多くの文芸作品を生み出してきました。本講習では、沖縄国際大学周辺における琉球文学に所縁のある場所を訪ね、琉球の言語文化についての理解を深めていきたいと考えています(入場料等の実費が必要となる場合あり)。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:30	オリエンテーション(出欠確認・自己紹介・全体説明ほか)		
9:30~10:30	第1講 琉球語概説(沖縄中南部方言を中心に)		
10:40~12:10	第2講 琉球文学概説(現地見学の作品を中心に)		
12:10~13:00	昼休み		
13:00~14:40	第3講 フィールド巡見(バスによる現地見学)		
14:40~16:10	第4講 ビデオ鑑賞と解説(現地見学したフィールドが舞台の作品を中心に)		
16:20~16:50	自習		
17:00~17:30	試験		
17:30~17:40	事後評価アンケートの回答および回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数および受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	英語音声実践トレーニング		
担当講師名	李 イニッド		
会場	沖縄国際大学	:(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月6日	振替日	2020年8月7日
講習の領域	教諭		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語科教諭		
履修認定時期	2020年9月30日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>最近国内の英語教育においては、「話す、聞く」の学習に重点を置き、音声による実践的なコミュニケーション能力の育成が重要視されるようになってきた。本講座は国際音声記号などを使って確実に英語確実に英語の発音を矯正する方法を紹介し、英語指導能力及びコミュニケーション能力の向上を目指す。日本人にとって特に難しいポイントを焦点にあてて英語音声を基礎から学び、正しい発音イントネーション、リズム感を修得する。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする ※CALL教室を使用のため、最低限のPCスキルは必要である</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 セルフアセスメント・子音		
10:20～11:20	第2講 母音		
11:30～12:30	第3講 音節・アクセント・リズム		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 リエゾン・脱落		
14:30～15:30	第5講 句切り・イントネーション・学習ツールの紹介		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	口頭試験		
評価基準	口頭試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】いまさら聞けない統計学		
担当講師名	齋藤 星耕		
会場	沖縄国際大学	（所在地）	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年 8月 8日	振替日	2020年 8月10日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭		
主な受講対象者	教諭、養護教諭、栄養教諭		
履修認定時期	2020年8月15日		
講習形態	その他		

講習内容

専門家ならずとも「統計学的に有意」という言葉はしばしば耳にするが、どういう意味だろうか。統計分析は、我が国では高校では僅かしか触れられず、また専門書は精緻な数学で綴られているために敷居が高い。そこで本講義では、「絵を見て理解する・使って慣れる」ことに主眼を置き、フリーソフトを用いて受講者自身が簡単な統計分析を行えるように講義と演習を行う。演習では学業成績の分析に加え、健康科学や食品科学のデータも扱う。

※ノートパソコンを持参してください。
 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
9:00~9:10	オリエンテーション
9:10~10:10	第1講 統計分析は何のため？
10:20~11:20	第2講 棒グラフを見かけたら（平均、分散、平均値の差の検定）
11:30~12:30	第3講 集計表を見かけたら（カイ自乗検定）
12:30~13:20	お昼休憩
13:20~14:20	第4講 散布図で表現できるデータの分析（回帰分析入門）
14:30~15:30	第5講 データを分類&データの背景を探る（多変量解析入門）
15:30~16:30	自習時間
16:30~17:30	試験(実技考査)
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収

試験の方法 実技考査

評価基準 統計ソフトを用いて、適切な手法を選択して統計分析の課題を解くことが出来る

評価	点数	評価の定義
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄経済論(新10K経済の課題と展望)		
担当講師名	前泊 博盛		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月11日	振替日	2020年8月12日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2020年9月30日		
講習形態	一般講義		

講習内容

沖縄は、全国最低の低所得、低賃金、低貯蓄、低持ち家率、高失業率、高離職率、高廃業率、高無業率など厳しい経済環境にあります。なぜでしょうか。基地、公共事業、観光の「3K依存経済」とされる沖縄経済は、いま、新たな成長産業として健康、環境、金融、研究、教育、交易、交通など新7K経済も注目されています。経済の基本はData(数字)とFact(事実)とEvidence(証拠)です。沖縄経済をデータで丁寧に検証し、子供たちの素朴な疑問に応えられる講義を行います。

※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
9:00~9:10	講義の概要とオリエンテーション
9:10~10:10	第1講 戦後沖縄経済の概況(100の指標からみる沖縄経済の課題)
10:20~11:20	第2講 沖縄経済(近代・現代沖縄経済史と島嶼経済論の検証)
11:30~12:30	第3講 基地経済(米軍基地の効果と課題分析)
12:30~13:20	昼食休憩
13:20~14:20	第4講 観光経済(データの検証とオーバーツーリズム問題)
14:30~15:30	第5講 新10K経済の現状と展望
15:30~16:30	自習時間(質疑応答)
16:30~17:30	試験(検定)
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収

試験の方法 筆記試験

評価基準

評価	点数	評価の定義
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】小学校教員のためのプログラム言語Scratchによる授業実践法		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	（所在地）	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月12日	振替日	2020年8月18日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育、IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2020年8月19日		
講習形態	演習		

講習内容	<p>世界的なプログラミング必修化の流れもあり、国内でも義務教育段階からのプログラミング教育の導入が決定している。</p> <p>本講習では一般の生徒らが教養として楽しめるプログラムの作成方法について学ぶとともに、小学校での授業内容と連動した授業実践法について学ぶ。具体的にはプログラム言語「Scratch(スクラッチ)」を用い、プログラムの基本処理(順次・反復・分岐)を身につけ、算数、理科、音楽などの情業での活用方法を修得することを目指す。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
------	--	--	--

講習の展開計画

時間	内容
9:30~9:40	オリエンテーション
9:40~10:40	スクラッチの超簡単入門(基本操作)
10:50~11:50	ねこを歩かせてみよう(基本処理:順次処理, 反復処理)
11:50~12:50	お昼休憩
12:50~13:50	授業科目と関連したプログラミング活用(1)
14:00~15:00	授業科目と関連したプログラミング活用(2)
15:10~16:10	授業科目と関連したプログラムの作成(個人課題作成)
16:20~17:20	成果発表会(実技考査)
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収

試験の方法	実技考査
-------	------

評価基準	制作課題の完成度と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容
------	------------------------------

評価	点数	評価の定義
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】琉球・沖縄を教材とした地理学習の指導法		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月12日	振替日	2020年9月12日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2020年 8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>社会科・地理学習における指導方法を考える際に、重要な事項として、①地理教育の方法論、②地理の学習理論、③地理的技能の修得、④現代社会との関係性などが挙げられよう。本講習では、①と③の事項に焦点を当て、「沖縄の地理」の教材化の方法について、古地図・地形図などの地図資料を用いながら検討したい。</p> <p>※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:20	オリエンテーション		
9:20～12:10	社会科地理教育の方法と課題－新学習指導要領への対応－		
12:10～13:00	お昼 休憩		
13:00～14:30	琉球・沖縄関連の地図資料の特徴(古絵図、近代地形図、現代地形図など)		
14:30～15:30	地理的スキルを高める授業方法(地形図の読解、主題図作成、空中写真の判読)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】ARプログラミング入門 - Processingで作る拡張現実の世界 -		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月13日	振替日	2020年8月19日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育, IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2020年8月20日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>Processingはプログラミング言語と開発環境をあわせた便利なツールです。簡単な記述でプログラミングが行え、特にグラフィックが簡単に描けることからプログラミング入門者の学習、メディアアーティストによるメディアアートの作成など、幅広く利用されています。</p> <p>本演習では現実に情報を重ねるAR(拡張現実)を実現するための手法を学びます。本講習を受講することで科目にあわせた綺麗なビジュアルの教材作成が可能となります。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:30~9:40	オリエンテーション		
9:40~10:40	基本操作		
10:50~11:50	アニメーションと2D・3Dグラフィック		
11:50~12:50	お昼休憩		
12:50~13:50	ライブラリの活用		
14:00~15:00	AR(拡張現実)の表現		
15:10~16:10	CGを用いた作品作成(個人課題作成)		
16:20~17:20	成果発表会(実技考査)		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	制作課題の完成度と講義内容の修得度, 及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の地理空間		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年8月14日	振替日	2020年9月14日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2020年8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>社会科・地理教育における課題の一つとして、生徒が実際の地理的空間に展開されている事象と、教科書・地図帳に記載されている事象とを関連させて、「思考」を深めることができないことが挙げられる。それを克服する方法として、地理教育では古くから野外学習(巡検)を実施してきた。本講習では、学校現場で応用できるように、地形図・空中写真・歴史資料を用いながら、上記の課題を検討したい。※沖縄本島中部地域のバス巡検を実施する。</p> <p>※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:15	オリエンテーション		
9:15～10:40	5号館屋上から普天間基地を見学後、沖縄国際大学を出発		
10:40～12:00	宜野湾市～中城村～北中城村～沖縄市(都市景観の特性、米軍基地返還跡地の利用など)		
12:00～13:00	お昼 休憩(県総合運動公園)		
13:00～15:30	沖縄市～うるま市(浜比嘉島・平安座島・宮城島・伊計島の地理的景観)		
15:00～15:30	うるま市～宜野湾市(沖縄国際大学)		
15:30～16:30	自由時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】地図を学ぶ		
担当講師名	小川 護		
会場	沖縄国際大学	（所在地）	沖縄県宜野湾市
開設日	2020年 8 月17 日	振替日	2020年 8月20 日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2020年 9 月 13 日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>小学校から高等学校まで、多くの授業で地図を活用することは、充実した魅力ある授業づくりに役立ちます。2020年からの新学習指導要領では、社会科を中心に地図活用度がますますその高まりをみせています。本講座では地図やGIS(地理情報システム)の活用方法について最新の地図事情を含め、地図についての基礎知識をお伝えしたいと思っています。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 地図の基礎知識		
10:20～11:20	第2講 地球上での位置情報について(丸い地球から平面の地図へ)		
11:30～12:30	第3講 GISの基礎入門(地理情報システムとはなにか)		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 GISソフトを活用して地形図読図を体験する(地形・土地利用・歴史的変化など)		
14:30～15:30	第5講 地図を用いた地理授業の展開(GISを用いた教材作りとその活用)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	